

1 題材名 「人工妊娠中絶」

2 題材について



責任ある性行動

近年、思春期における性行動が活発化していることを背景に、人工妊娠中絶や性感染症の増加が社会問題となっている。特に札幌市においては、10代の人工妊娠中絶率・性感染症罹患状況が全国平均より高い実態である。異性への関心が高まり、性的欲求も強まっていく高校生の時期においては、避妊や人工妊娠中絶の正しい知識を身に付けるとともに、自分の人生設計を明確にし、相手を尊重し、責任の持てる性行動を選択できる態度を養うことが必要と考え、本題材を設定した。

3 目標

- (1) 人工妊娠中絶が心身に与える深刻な影響を理解する。
- (2) 正しい避妊法を理解する。
- (3) 望まない妊娠を避けるための適切な行動を選択できる態度を育てる。

4 指導展開例

	教師のかかわり	子供の思考の流れ・学習活動	留意点
導 入	グループをつくり、資料1を提示する。	資料1を読む。	・資料を通して、考えさせる。 (資料1)
	<p>A子さんのように、今あなたが妊娠してしまったら(妊娠させてしまったら)どのような行動を選択するだろう。</p> グループ内で意見交換させる。	グループ内で意見交換する。 『産まない』 ・精神的にも経済的にも自立していない ・結婚する決心がつかない ・子育てよりもまだ勉強したいこと、やってみたいことがたくさんある ・両親の理解を得るのが難しい 『産む』 ・好きな人の子供なら産みたい ・新しい命を奪うのはかわいそう ・両親からの理解、協力、経済的援助を得ながら育てていける	
	資料2を提示し、グループ内で感想を意見交換させる。	資料2を読み、感想を意見交換する。 ・A子さんがかわいそう	・資料を読んで、意見交換する。

		<ul style="list-style-type: none"> ・無責任な性交はよくない ・自分はこんなに悲しい思いをしたくない 	(資料2)
展	資料3提示、実態説明。札幌市の10代の人工妊娠中絶率は全国約2倍である。	資料3から若年層における人工妊娠中絶の背景を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の女性の性能の発達・性周期についても触れ、高校生の時期は妊娠可能な体になっていることも補足説明。
	たくさんの若者が人工妊娠中絶を受けているのはなぜだろう？		
	数名生徒を指名し、考えを発表させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分だけは大丈夫 ・将来的見通しを考えない性行動 ・避妊の知識不足や誤解 ・性の売買・避妊が面倒くさい、言い出せない 	(資料3)
	人工妊娠中絶が心と体に与える影響を考えてみよう。		
資料4提示、説明。心身への影響を説明。 ・不妊症、習慣性流産、子宮外妊娠の原因になり得る ・心の後遺症	人工妊娠中絶手術の理解。 人工妊娠中絶の心身への影響を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・法律で定められた時期や方法以外で墮胎したときには墮胎罪になることを補足説明。 	(資料4)
人間はなぜ性交するのだろうか？			
開	グループで意見交換させる 生徒の考えをもとに3つにまとめる 1 子供を産むため 2 愛する者同士のコミュニケーション 3 その場限りに欲求を満たす 3 心がつながらない。強姦や援助交際・売買春など非社会的な性行動に結びつく。 2 幸せになる結びつき。産むことを望んでいない場合には必ず「避妊」する。	意見交換する。 <ul style="list-style-type: none"> ・子供をつくるため ・愛し合っているから ・スキンシップ ・欲求を満たすため ・快樂のため ・寂しいから ・お金や物欲しさ 	<ul style="list-style-type: none"> ・性交を助長することのないよう配慮して指導する。
	どのような避妊法を選ぶべきか？		
	避妊法の種類・特徴・使用法と避妊効果説明。(コンドーム、ピルを中心に) 避妊法選択の留意点説明。 <ul style="list-style-type: none"> ・安全、確実なもの ・必要な条件に合うもの 	各避妊法の特徴や、正しい使用法を理解する。 避妊法選択の留意点を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・膣外射精やオギノ式、洗浄法などを避妊法だと誤解している場合があることを補足説明する。
望まない妊娠を避けるために。			
まとめ	各自の考えをノートにまとめ、数名に発表させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・性的関係になる前に...「心と体を大切にしようか」 ・性交の前に...「今妊娠を望むか」 ・望まなければ...「性交しないか」「避妊する」 	どのような行動を選択すべきか、考えをまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・互いの意志を大切に ・自分の人生設計をよく考える ・避妊をする習慣を身に付ける ・性交を我慢する 	

5 資 料

【資料1】

A子さんの体験談 その1

私は高校2年生の時、同じ高校に通う3年生と付き合っていました。付き合いはじめて2ヶ月ほどたったある日、彼氏に性交を要求され、私は不意の出来事に戸惑いを感じながらも彼氏に嫌われたくなかったので性交を許しました。そのときはコンドームの準備もなく、かろうじて膣外射精という方法で妊娠を回避したつもりでした。

ところがその後、順調だった生理が生理予定日を1週間過ぎてもこなかったのです。最初はただの生理不順かと思っていましたが、日にちがたっていくうちにもしかして？と不安に駆られ、何をしても落ち着きません。体がだるく、食欲もありません。トイレの回数が多くなり、胸にも痛みを感じるような張りがありました。こっそりと市販の妊娠検査薬を買い、恐る恐る試してみると、くっきりと陽性反応。「やっぱり・・・どうしよう」

この私が妊娠するなんて考えてもいなかった。後悔と不安で涙がこみあげてきました。

(自作資料)

【資料2】

A子さんの体験談 その2

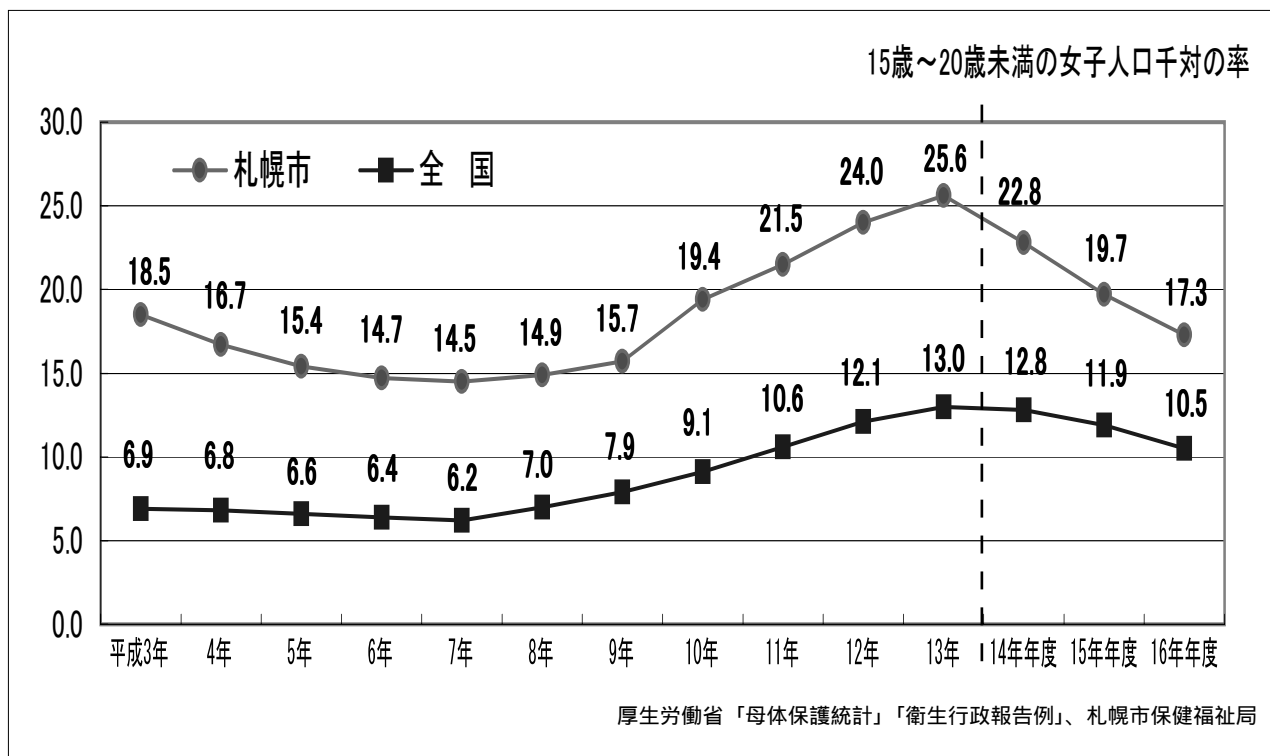
二人ともまだ高校生。子供を産み育てていけるお金も環境も自信もありません。彼氏ともよく話し合い、中絶という道を選択しました。初めて産婦人科の門をくぐるのには勇気がいりました。待合室の妊婦さんたちはみんな幸せそうに会話を交わしています。その中で私は中絶しようとしているんだと思うと情けなくて仕方ありませんでした。診察の結果「妊娠ですね。今妊娠2ヶ月半です。」と告げられました。「妊娠ではありませんよ」という言葉を最後まで期待していたのに、妊娠は本当なんだ・・・と膝がガクガクしてしまいました。「今は産めません」とお医者さんに告げると、彼氏のこと、両親のことなどを聞かれ、手術の説明を受け、同意書を手渡されて帰りました。未成年なので保護者のサインも必要です。最初は両親に隠そうと思いましたが、費用面のこともあり、結局相談することにしました。

手術は全身麻酔を打たれ意識の無いうちに終わり、気が付くとベッドに横たわっていました。下半身がしびれておなかが重たい感じがしました。意識がもうろうとする中で、後悔と惨めさで涙が止まりませんでした。彼は泣き止むまでずっと手を握り「本当にごめん」と何度も言っていました。

今でも中絶したことがとても辛くて苦しくてつぶれそうになります。急に精神的に不安定になって泣き出したりもします。無責任な行動で小さな命を消してしまったことへの罪悪感を一生背負っていかなければなりません。こんなことはもう二度と繰り返したくありません。将来無事に妊娠できるかどうかはわかりませんが、いつか素直に喜べる中で赤ちゃんを迎えたいと思います。

(自作資料)

【資料3】 札幌市の10代の人工妊娠中絶率



(札幌市保健福祉局ホームページ 2005)

【資料4】

人工妊娠中絶手術について

母体保護法

特別な理由

妊娠の継続又は分娩が身体的又は経済的理由により母体の健康を著しく害するおそれがある場合

暴行若しくは脅迫によって又は抵抗若しくは拒絶することができない間に
かんいん 姦淫されて妊娠した場合

母体保護法指定医

妊娠21週まで

手術の方法

妊娠11週まで 吸引法やそうは掻爬法

妊娠12週から21週 実際の出産のように陣痛を起こして人工的に流産させる

(自作資料)